

課題対応取組み報告書

【共通】

名称	天下茶屋総合相談窓口
提出日	2023 年 6 月 9 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域や専門職とのつながり等	<input type="checkbox"/> 社会資源の創設（居場所づくり等）
	<input type="checkbox"/> 認知症高齢者等の支援	<input type="checkbox"/> 自立支援・介護予防・健康づくり等
	<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活動テーマ	ひとり暮らし高齢者の生活課題に対する早期アプローチ	
地域ケア会議から 見えてきた課題	様々な生活課題を抱えているひとり暮らし高齢者で生活保護を受けている方については、ケースワーカーや訪問員と連携し、早期に対応できるようにする。	
対象	地域住民及び地域の関係者、区役所のケースワーカー・訪問員	
地域特性	毎年、古い集合住宅が取り壊され、新築の戸建や賃貸マンションが増えている。ひとり暮らしで生活保護を受給している高齢者が多い。	
活動目標	区役所のケースワーカーとの連携を強化することで、ひとり暮らし高齢者の生活課題に早期に対応する。	
活動内容 (具体的取組み)	総合相談（ランチ）（以下「ランチ」という）の職員が年度途中で交代したこともあり、改めて天下茶屋地域を担当している訪問員に挨拶・自己紹介を行った。気になることがあれば何でも相談を頂けるよう話し、実際に相談や訪問依頼があった場合は、迅速な対応を心掛けた。また、随時ケースワーカーに対象者の経過報告を行った。その他、ランチと接点のある大家さんにも、気になる方がいれば、相談対応すると話をさせて頂いた。	
成果 (根拠となる資料等があれば添付すること)	区役所の訪問員から相談を頂き、支援に繋げることができた。また件数は1件ではあったが、地域の大家さんからの相談にも対応することができた。今後も顔の見える関係を大事にしながら、高齢者の生活問題に対応していきたい。	
今後の課題	生活保護を受給されていれば、ケースワーカーや訪問員から相談を受けることは可能であるが、地域や区役所と接点がない方は、早期発見・早期対応が難しい。 ランチの周知活動を基本に生活問題を抱えた高齢者の早期発見・早期対応に努めたい。	

※以下は、区運営協議会事務局にて記入

区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和5年7月10日(月)
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	<input checked="" type="checkbox"/> 地域性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続性 <input checked="" type="checkbox"/> 浸透性・拡張性 <input checked="" type="checkbox"/> 専門性 <input checked="" type="checkbox"/> 独自性
評価できる項目（特性） についてのコメント	ひとり暮らしで生活保護を受給している高齢者が多いことから、ケースワーカーや大家と顔の見える関係を築くことは大切である。今後、地域住民はじめ、地域の大家や民生委員等、高齢者の身近な関係機関と顔の見える関係性が持てるよう、ランチの周知がされ早期発見・早期支援へつながるよう期待します。
* 今後の取組み継続に向けて、区 地域包括支援センター運営協議 会からの意見等を記載。	